

■ 二項係数 ${}_n C_k$ について、次の問いに答えよ。

- (1) すべての $n \in \mathbb{N}$, $k \in \mathbb{Z}$ ($0 \leq k < n$) に対して ${}_{n+1}C_{k+1} = {}_n C_k + {}_n C_{k+1}$ が成り立つことを示せ。
 (2) すべての $n \in \mathbb{N}$, $k \in \mathbb{Z}$ ($0 \leq k \leq n$) に対して

$${}_{n+1}C_{k+1} = {}_k C_k + {}_{k+1}C_k + \cdots + {}_n C_k$$

が成り立つことを示せ。

- (3) すべての $n \in \mathbb{N}$, $k \in \mathbb{Z}$ ($0 \leq k \leq n$) に対して ${}_n C_k$ は自然数であることを示せ。

(解) (1) 二項係数の定義より

$$\begin{aligned} {}_{n+1}C_{k+1} &= \frac{(n+1) \cdot n!}{(k+1)!(n-k)!} = \frac{\{(k+1) + (n-k)\} \cdot n!}{(k+1)!(n-k)!} \\ &= \frac{n!}{k!(n-k)!} + \frac{n!}{(k+1)!\{n-(k+1)\}!} = {}_n C_k + {}_n C_{k+1} \end{aligned}$$

となる。(2) すべての $n \in \mathbb{N}$ に対して ${}_n C_n = 1$ であることに注意して、(1) を帰納的に用いると

$$\begin{aligned} {}_{n+1}C_{k+1} &= {}_n C_{k+1} + {}_n C_k = ({}_{n-1}C_{k+1} + {}_{n-1}C_k) + {}_n C_k \\ &= ({}_{n-2}C_{k+1} + {}_{n-2}C_k) + {}_{n-1}C_k + {}_n C_k = \cdots \\ &= {}_{k+1}C_{k+1} + {}_{k+1}C_k + \cdots + {}_{n-2}C_k + {}_{n-1}C_k + {}_n C_k \\ &= {}_k C_k + {}_{k+1}C_k + \cdots + {}_{n-2}C_k + {}_{n-1}C_k + {}_n C_k \end{aligned}$$

である。(3) すべての $n \in \mathbb{N}$ に対して、命題

(P) $0 \leq k \leq n$ をみたすすべての $k \in \mathbb{Z}$ に対して ${}_n C_k$ は自然数である

が成り立つことを示す。(i) ${}_1 C_0 = 1$, ${}_1 C_1 = 1$ より、 $n = 1$ のとき、命題 (P) が成り立つ。 $n = \ell$ のとき、命題 (P) が成り立つと仮定する。二項係数の定義より ${}_{\ell+1}C_0 = 1$, ${}_{\ell+1}C_{\ell+1} = 1$ である。また、自然数 k ($1 \leq k \leq \ell$) のとき、仮定と ${}_{\ell+1}C_k = {}_{\ell}C_{k-1} + {}_{\ell}C_k$ より ${}_{\ell+1}C_k$ は自然数である。したがって、 $n = \ell + 1$ のときも、命題 (P) が成り立つ。数学的帰納法により、すべての $n \in \mathbb{N}$ に対して命題 (P) が成り立つ。 ■